

J-DOMEの概要と協定締結の意義

公益社団法人 日本医師会
日本医師会総合政策研究機構

1. J-DOME(日本医師会かかりつけ医糖尿病データベース研究事業)の概要

背景

- わが国の健康寿命の延伸に向けて、糖尿病対策は重要な課題の1つ
- 糖尿病患者の65%は診療所を受診しており、専門医のみならず身近なかかりつけ医による効果的な診療が重要。しかしながら実態を知るための診療データが不足

内容

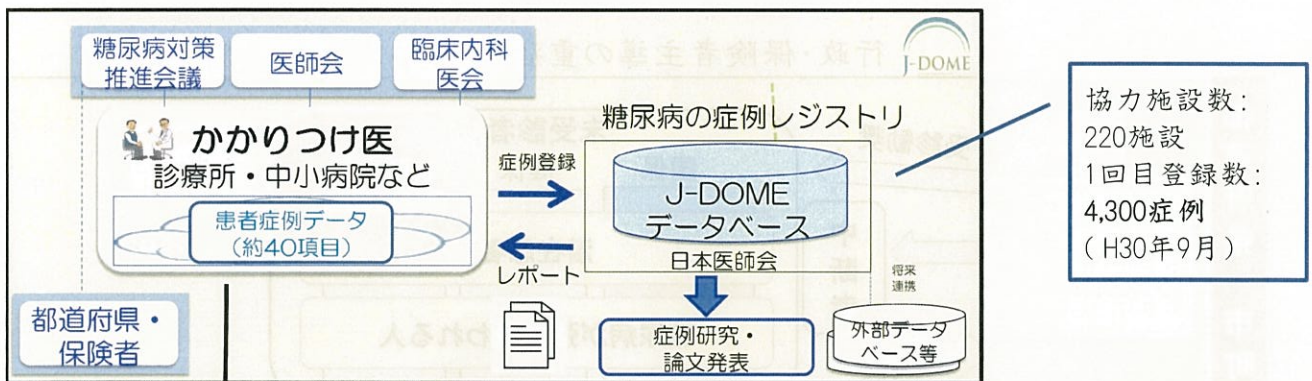
- かかりつけ医の糖尿病症例レジストリを構築(現在第1回目で4,300症例)
- かかりつけ医の2型糖尿病患者の状態や診療の現状を把握
- 他との比較が可能となるよう個別に情報提供。並行して症例研究を実施

目的

- 糖尿病診療の均てん化と重症化予防の推進

※J-DOME: Japan medical association Diabetes database Of clinical MEdicine

J-DOMEの全体像



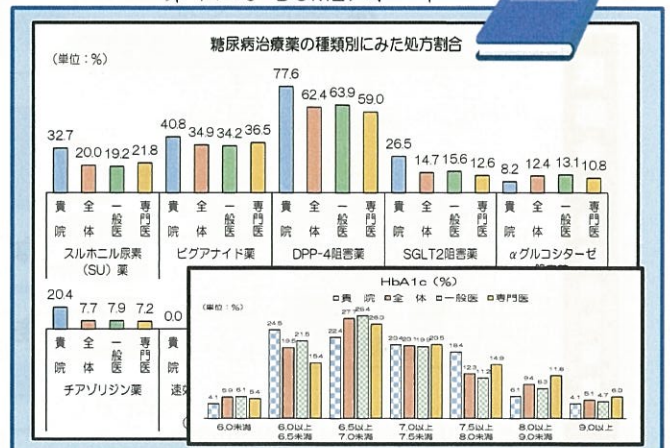
収集項目

基本情報、診断年齢、家族歴、合併症、併発疾患、検査値、糖尿病治療薬種類、指導、等

< 参考 >

- J-DOMEホームページ <https://jdome.imari.med.or.jp>
- 日医総研ワーキングペーパー No.414「日本医師会かかりつけ医糖尿病データベース研究事業(J-DOME)-研究事業の概要と『第1回J-DOMEレポート』の報告-」

第1回J-DOMEレポート



個別にフィードバックし、診療の比較やベンチマーキングを可能に

2. 協定締結の意義

埼玉県と埼玉県医師会の取り組み

- 平成26年度に、糖尿病の重症化を予防し人工透析への移行を防止する「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定、事業を開始
- 平成30年度には49市町で事業を展開
- 国は「骨太の方針2018」に、埼玉県の取組の横展開を進めるべきと書き込み

埼玉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムと
日本医師会研究事業(J-DOME)が
連携協定を締結して
地域の糖尿病対策をより広範かつ効果的に推進

「かかりつけ医の糖尿病診療の推進と重症化予防に向けた連携協定」

- データの利活用と情報共有を行い、重症化予防プログラムの参加者を増やすとともに、より有効な糖尿病診療を推進する

連携協定(概念図)

